

2026年11月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年4月14日

上場会社名 モリト株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9837 URL https://www.morito.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 一坪 隆紀
 取締役常務執行役員
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレート統括室長兼 (氏名) 阿久井 聖美 (TEL) 06-6252-3551
 管理本部長
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年11月期第1四半期の連結業績(2025年12月1日～2026年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年11月期第1四半期	16,681	37.2	1,038	68.1	1,046	51.8	660	9.8
2025年11月期第1四半期	12,161	3.6	617	△6.8	689	2.9	601	6.5

(注) 包括利益 2026年11月期第1四半期 2,212百万円(40.7%) 2025年11月期第1四半期 1,573百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2026年11月期第1四半期	円 銭 25.97	円 銭 —
2025年11月期第1四半期	22.93	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2026年11月期第1四半期	百万円 57,210	百万円 40,526	% 70.8
2025年11月期	55,498	39,832	71.8

(参考) 自己資本 2026年11月期第1四半期 40,526百万円 2025年11月期 39,832百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年11月期	円 銭 —	円 銭 33.00	円 銭 —	円 銭 37.00	円 銭 70.00
2026年11月期	—	—	—	—	—
2026年11月期(予想)	—	36.00	—	36.00	72.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年11月期の連結業績予想(2025年12月1日～2026年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	63,000	10.8	3,500	5.0	3,700	2.1	3,000	2.9	117.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) - 、除外 一社(社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年11月期1Q	26,800,000株	2025年11月期	26,800,000株
-------------	-------------	-----------	-------------

② 期末自己株式数

2026年11月期1Q	1,513,449株	2025年11月期	1,204,249株
-------------	------------	-----------	------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2026年11月期1Q	25,420,901株	2025年11月期1Q	26,215,626株
-------------	-------------	-------------	-------------

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

また当社及び当社の一部のグループ会社は、「株式給付信託(J-E SOP)」及び「役員報酬BIP信託」を導入しており、株式会社日本カストディ銀行(信託E口)と日本マスタートラスト信託銀行株式会社(役員報酬BIP信託口)がそれぞれ所有する当社株式については、自己株式に含めております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況.....	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況.....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明.....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表.....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	7
四半期連結損益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	8
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項.....	9
(セグメント情報等)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(四半期連結損益計算書に関する注記)	12
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間(2025年12月1日～2026年2月28日)における経営環境は、国内では雇用・所得環境の改善を背景に、日本経済が緩やかな回復基調で推移しました。一方で、金融資本市場の変動、資源・原材料価格の上昇、米国・中国経済の動向、地政学的リスクの高まりなどを背景に、依然として先行き不透明な状況が続いております。このような状況の中、主にアパレル関連、プロダクト関連、輸送関連の事業を行う当社グループにおきましては、残暑の影響によるアパレル秋物需要の停滞、中国市場での日系自動車メーカーの苦戦など厳しい状況でありました。しかし一方で、株式会社Ms. ID・株式会社ミツボシコーポレーションの連結、健康関連商品、ゲーム関連商品、厨房機器関連サービス事業が好調に推移し、売上高が増加しました。また、サステナブルな社会の実現を目指したモリトグループの取り組み「Rideeco®(リデコ)」において、国内の廃漁網を100%使用した糸「MURON®(ミューロン)」や、縫製工場から出るはぎれなどを活用した混抄紙「ASUKAMI®(アスカミ)」の開発・販売を推進しました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高166億8千1百万円(前年同期比37.2%増)、営業利益10億3千8百万円(前年同期比68.1%増)、経常利益10億4千6百万円(前年同期比51.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益6億6千万円(前年同期比9.8%増)となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間における、海外子会社の連結財務諸表作成に係る収益及び費用の換算に用いた為替レートは、次のとおりです。

	第1四半期	
米ドル	154.09	(152.37)
ユーロ	179.39	(162.58)
中国元	21.73	(21.16)
香港ドル	19.81	(19.60)
ベトナムドン	0.0059	(0.0060)
タイバーツ	4.80	(4.49)
メキシコペソ	8.42	(7.59)

(注) ()内は前年同期の換算レートです。

セグメント別の経営成績につきましては、次のとおりです。

なお、前連結会計年度より、報告セグメントの区分を変更しております。詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (セグメント情報等)」の「3. 報告セグメントの変更等に関する事項」に記載のとおりです。

(日本)

アパレル関連では、秋物需要の停滞によりファッションアパレル向け資材が軟調に推移したものの、シルバーアクセサリー、ユニフォーム関連資材、高級バッグ向け付属品の売上高が増加しました。

プロダクト関連では、アクションスポーツ関連商品の売上高が減少しましたが、健康関連商品、文具・ゲーム関連商品、猛暑対策商品、厨房機器レンタル・販売・清掃事業の売上高は増加しました。

輸送関連では、日系自動車メーカー向け自動車内装部品の売上高が増加しました。

その結果、売上高は126億5千2百万円(前年同期比48.3%増)、セグメント利益は8億5千9百万円(前年同期比55.5%増)となりました。

(アジア)

アパレル関連では、中国カジュアルウェア向け付属品、ベトナムでのスポーツシューズ向け付属品の売上高が増加しました。

輸送関連では、日系自動車メーカー向け自動車内装部品の売上高が減少しました。

その結果、売上高は23億1千1百万円(前年同期比14.0%増)、セグメント利益は2億2千6百万円(前年同期比46.1%増)となりました。

(欧米)

アパレル関連では、米国でのメディカルウェア向け付属品の売上高が増加しました。

輸送関連では、欧州での日系自動車メーカー向け自動車内装部品の売上高が増加しました。

その結果、売上高は17億1千7百万円(前年同期比7.3%増)、セグメント利益は9千7百万円(前年同期比112.8%増)となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末における財政状態の概況は次のとおりです。

総資産は、572億1千万円となり前連結会計年度末比17億1千1百万円増加しました。

流動資産につきましては、313億7千4百万円となり前連結会計年度末比3億7千3百万円増加しました。これは主に、その他に含まれる未収入金が1億9千9百万円減少、その他に含まれる短期貸付金が1億5千万円減少したものの、棚卸資産が6億6千3百万円増加したことによります。

固定資産につきましては、258億3千5百万円となり前連結会計年度末比13億3千8百万円増加しました。これは主に、土地が6千9百万円減少したものの、投資有価証券が13億7千3百万円増加したことによります。

流動負債につきましては、108億6千6百万円となり前連結会計年度末比6億4千8百万円増加しました。これは主に、未払法人税等が3億5千3百万円減少、電子記録債務が1億6千8百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が5億4百万円増加、短期借入金が5億円増加、その他に含まれる未払費用が2億1千3百万円増加したことによります。

固定負債につきましては、58億1千7百万円となり前連結会計年度末比3億6千9百万円増加しました。これは主に、長期借入金が9千6百万円減少したものの、その他に含まれる繰延税金負債が4億1千3百万円増加したことによります。

純資産につきましては、405億2千6百万円となり前連結会計年度末比6億9千3百万円増加しました。

なお、自己資本比率は前連結会計年度末の71.8%から70.8%と1.0ポイント減少しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年1月14日に公表いたしました2026年11月期の連結業績予想につきましては、現在のところ変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,401,479	9,497,820
受取手形及び売掛金	9,249,151	9,244,969
電子記録債権	3,285,056	3,539,359
棚卸資産	7,132,599	7,795,801
その他	1,965,918	1,334,478
貸倒引当金	△32,775	△37,550
流動資産合計	31,001,429	31,374,878
固定資産		
有形固定資産		
土地	4,642,506	4,572,577
その他(純額)	5,998,173	6,068,578
有形固定資産合計	10,640,680	10,641,156
無形固定資産		
のれん	3,529,567	3,491,931
商標権	1,773,215	1,772,340
その他	295,685	280,618
無形固定資産合計	5,598,468	5,544,889
投資その他の資産		
投資有価証券	6,594,430	7,968,356
退職給付に係る資産	375,198	374,548
その他	1,444,787	1,467,912
貸倒引当金	△156,101	△160,891
投資その他の資産合計	8,258,314	9,649,925
固定資産合計	24,497,464	25,835,971
資産合計	55,498,893	57,210,849
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,205,409	4,710,051
電子記録債務	1,023,219	854,752
短期借入金	600,000	1,100,000
1年内償還予定の社債	300,000	300,000
1年内返済予定の長期借入金	440,004	440,004
未払法人税等	791,705	438,655
賞与引当金	537,532	510,464
役員賞与引当金	195,210	48,779
その他	2,124,254	2,463,603
流動負債合計	10,217,336	10,866,310
固定負債		
社債	300,000	300,000
長期借入金	1,049,947	953,279
株式給付引当金	65,821	63,469
役員退職慰労引当金	131,787	137,737
役員株式給付引当金	125,647	129,479
環境対策引当金	13,075	13,747
退職給付に係る負債	919,282	919,265
その他	2,843,398	3,301,012
固定負債合計	5,448,960	5,817,992
負債合計	15,666,296	16,684,302

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,532,492	3,532,492
利益剰余金	30,652,347	30,346,812
自己株式	△962,920	△1,516,004
株主資本合計	33,221,918	32,363,299
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,947,894	3,879,166
繰延ヘッジ損益	24,640	2,453
土地再評価差額金	388,729	388,729
為替換算調整勘定	3,165,086	3,815,711
退職給付に係る調整累計額	84,326	77,187
その他の包括利益累計額合計	6,610,678	8,163,247
非支配株主持分	—	—
純資産合計	39,832,596	40,526,546
負債純資産合計	55,498,893	57,210,849

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年12月1日 至 2026年2月28日)
売上高	12,161,976	16,681,614
売上原価	8,635,000	11,612,198
売上総利益	3,526,976	5,069,416
販売費及び一般管理費	2,909,229	4,030,676
営業利益	617,746	1,038,739
営業外収益		
受取利息	2,529	6,303
受取配当金	14,420	18,900
不動産賃貸料	9,221	12,301
為替差益	※1 26,206	—
持分法による投資利益	13,428	10,875
補助金収入	18,031	—
その他	2,761	6,699
営業外収益合計	86,599	55,080
営業外費用		
支払利息	4,802	8,177
為替差損	—	※1 16,157
その他	10,227	22,898
営業外費用合計	15,030	47,234
経常利益	689,315	1,046,585
特別利益		
固定資産売却益	—	9,297
投資有価証券売却益	130,193	—
受取保険金	70,000	—
特別利益合計	200,193	9,297
特別損失		
固定資産除却損	2,013	2,493
特別損失合計	2,013	2,493
税金等調整前四半期純利益	887,496	1,053,389
法人税、住民税及び事業税	283,057	408,791
法人税等調整額	3,194	△15,670
法人税等合計	286,252	393,121
四半期純利益	601,243	660,268
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	601,243	660,268

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年12月1日 至 2026年2月28日)
四半期純利益	601,243	660,268
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	96	931,271
繰延ヘッジ損益	11,334	△22,188
為替換算調整勘定	966,952	650,624
退職給付に係る調整額	△6,574	△7,138
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	0
その他の包括利益合計	971,807	1,552,569
四半期包括利益	1,573,051	2,212,837
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,573,051	2,212,837
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

四半期連結財務諸表は、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。）に準拠して作成しております。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年12月1日 至 2025年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結財務諸表計上額 (注)2
	日本	アジア	欧米	計		
売上高						
アパレル関連	2,884,362	1,750,926	1,297,581	5,932,870	—	5,932,870
プロダクト関連	4,509,082	161,924	1,200	4,672,207	—	4,672,207
輸送関連	1,139,183	115,626	302,089	1,556,899	—	1,556,899
顧客との契約から生じる収益	8,532,628	2,028,476	1,600,871	12,161,976	—	12,161,976
外部顧客への売上高	8,532,628	2,028,476	1,600,871	12,161,976	—	12,161,976
セグメント間の内部売上高 又は振替高	433,137	839,744	30,355	1,303,237	△1,303,237	—
計	8,965,766	2,868,221	1,631,226	13,465,214	△1,303,237	12,161,976
セグメント利益	552,298	154,890	45,588	752,777	△135,030	617,746

(注) 1 セグメント利益の調整額△135,030千円には、セグメント間取引消去△62,532千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△72,498千円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「日本」セグメントにおいて、前第1四半期連結会計期間に行われた株式会社Ms. IDの株式取得による企業結合について、暫定的な会計処理を行っていましたが、前連結会計年度末に確定したため、暫定的に算定されたのれんの金額が3,288,364千円から2,536,270千円となっております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年12月1日 至 2026年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結財務諸表計上額 (注) 2
	日本	アジア	欧米	計		
売上高						
アパレル関連	6,412,489	2,039,600	1,328,544	9,780,634	—	9,780,634
プロダクト関連	5,011,661	116,696	92	5,128,450	—	5,128,450
輸送関連	1,227,849	114,617	334,423	1,676,890	—	1,676,890
顧客との契約から生じる収益	12,652,000	2,270,914	1,663,060	16,585,974	—	16,585,974
その他の収益	—	40,953	54,686	95,639	—	95,639
外部顧客への売上高	12,652,000	2,311,867	1,717,746	16,681,614	—	16,681,614
セグメント間の内部売上高 又は振替高	470,577	1,064,293	16,765	1,551,636	△1,551,636	—
計	13,122,577	3,376,160	1,734,512	18,233,251	△1,551,636	16,681,614
セグメント利益	859,039	226,236	97,001	1,182,277	△143,537	1,038,739

(注) 1 セグメント利益の調整額△143,537千円には、セグメント間取引消去△51,804千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△91,732千円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度より、当社グループは、2014年11月期にSCOVILL AMERICAS, LLC (現MORITO SCOVILL AMERICAS, LLC) 及びその子会社を連結子会社化したことに伴い発生したのれん及び無形固定資産について、従来、「欧米」セグメントに計上しておりましたが、管理区分を見直し、MORITO SCOVILL HONG KONG CO., LTD. の事業に係るのれん及び商標権を「アジア」セグメントに変更しております。

なお、このセグメント変更に伴い、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分により組替えて表示しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書に関する注記)

※1 為替予約にかかる損益の表示

前第1四半期連結累計期間(自 2024年12月1日 至 2025年2月28日)

連結グループ間取引に対する為替予約に係る損失943千円は、為替差益に含めて表示しております。

当第1四半期連結累計期間(自 2025年12月1日 至 2026年2月28日)

連結グループ間取引に対する為替予約に係る損失4,513千円は、為替差損に含めて表示しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりです。

	(単位：千円)	
	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年12月1日 至 2026年2月28日)
減価償却費	229,890	277,306
のれんの償却額	67,083	86,254